

とうざん



有田町立有田小学校 校長 松尾 寛



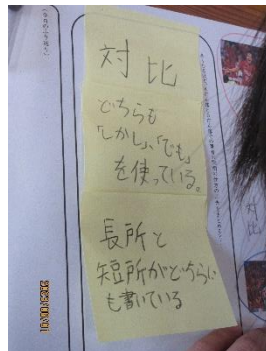
色鮮やかな紫陽花

4年1組の子ども達、すばらしい学びでした！

6月に入り、校内では落ち着いた子ども達の学びや生活が見られています。その中で、本年度、有田っ子の学力向上の取組の1つとして、国語科学習において児童が広く深く考える力を高めています。そのために、教職員が授業を互いに見合っ、子ども達が主体的・対話的で深い学びができるよう、研究会を行っていきます。その主任を4年1組担任の小川先生に託しています。

先週の木曜日(6月1日)、授業研究会のトップバッターとして4年1組の国語科の授業がありました。学校のキャッチフレーズ「見える化・聴こえる化」を授業で実践するために、子ども達が頭の中で考えていることをホワイトボードに書いて話し合うという学習が展開されました。教材は、説明文『アップとルーズで伝える』で、アップとルーズでとられた写真とその説明文を比べ、子ども達が気付いたことを付箋紙に書き、ホワイトボード上に貼り、同じ内容でグルーピングして見出しを付けることができました。それによって、同じグループの子ども達が説明文を書いた筆者の工夫に気付いたり、どうして筆者はアップとルーズを比べ、それぞれの良さだけでなく、不十分なことを書いているのかを深く考えることができました。4年1組の子ども達は、これまで小川先生と説明文の学びに取り組んできました。その成果が見え始めています。授業後に、ある子どもが言ったそうです。「今日の勉強で、説明文が少し好きになった。」と。すばらしい学びをありがとうございました。

授業は、「いきもの」と言われています。教師の工夫と子ども達の反応で、瞬時に変化していきます。これからも4年1組の子ども達が、国語の学びを通して、自分の考えを広く深くできる姿が「見える化・聴こえる化」することをめざし、小川先生とともに子どもが主役の授業を創っていきます。



小川教諭からの問いに対し、付箋紙に気づきを書いたり、教材文を読み返したり、ホワイトボードに書いたりする子ども



多くの先生方が見られる中、4年生の子ども達は、自分の考えを書いたり発表したりすることができました。



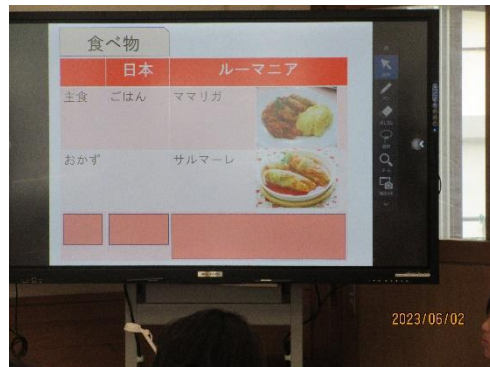
私が写していない子ども達も積極的に発表したり書いたりすることができました。

←今年度、授業研究の講師をお願いしている、脇山英靖教授です。(佐賀女子短期大学)

3年生 国際理解の学び、第2回 ルーマニア編！

前回、アフリカのガーナについて、養護教諭のアルボ陽子先生から話を聞くことができました。今回は、ヨーロッパのルーマニアについて、教務主任の坂口直子先生から話を聞きました。坂口指導教諭は、以前、ルーマニアの日本人学校に3年間、勤務した経験があり、担任の加藤先生からお願いされて、体験談を話すことになったそうです。

坂口先生の話聞いて、私も初めて知ったことがありました。1つめは、ルーマニアの小学校は進級試験があり、不合格だったら留年しなければならないことです。2つめは、学校ではルーマニア語（国語）、英語、数学、理科だけを習い、美術、音楽、体育などは習い事で学ぶ子ども達もいることです。3つめは、午前中と午後で学年毎に登校し、半日授業で給食はなく自宅で食べることです。このように国によって教育制度が異なることが分かりました。



坂口先生がスイカの値段をガーナと比べたり、市場に並ぶフルーツや、デザートのパパナシを紹介したりしました。



3年生は、ルーマニアの紙幣の種類や、日本の学校との違い等の話を聞いて、たくさんの質問をしました。

5年生、大山小学校と合同で田起こしに挑戦！

昨日、有田小学校と大山小学校の5年生が一緒に、田植えをするための田起こしを行いました。しとしとと梅雨の雨が降る中でしたが、総合的な学習の時間に取り組む「稲作を体験しよう」の一回目として、大山小学校の近くの水田で田起こしを体験させていただきました。お世話になった大山小学校や地域の皆様、ありがとうございました。田植えや稲刈りまで宜しくお願いします。



大山小と合同の田起こし

6年生、明日から長崎へ修学旅行！

有田小学校は、毎年、この時期に6年生だけが長崎へ修学旅行に行きます。今回は、武雄温泉駅から長崎駅まで、西九州新幹線に乗って行きます。児童数が12名でバスを2日間、貸し切ると一人あたりが高額になりますので、今回は行きは新幹線、帰りは大村線をシーサイドライナーで早岐駅まで戻り、特急に乗り換えて有田駅まで帰ってきます。学校往復は町のバスで送迎させていただきます。ありがとうございます。

